

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1994年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫（1,900,000円）、県費（950,000円）の補助金の交付を受け、平成6年4月4日から平成7年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会		
担当課	生涯学習課文化財保護係		
教 育 長	小林茂吉（6.9.30まで） 高橋好次郎（6.10.1～）		
生涯学習課長	石井忠夫	文化財保護係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
文化財保護係長	岡田眞一	発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執 筆：高崎直成（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ章）、鍋島直久（第Ⅲ、Ⅳ章）、土本匡（第Ⅴ章石器）	土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子
土器復元：中田藤子	実 測：（街）文化財COM、斎藤尽志、高崎直成、高橋けい子、土本匡、鍋島直久
トレース：小林登喜江、須藤さち子	図版作成：石垣ゆき子、丹治つや子
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久	遺物写真：高崎直成

また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、
佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木加津子、鈴木仁子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、
早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
（敬称略） 埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

会沢 泉、秋本太郎、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、
大井美智子、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、上岡福蔵、神木光治、川部栄子、
河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、
鮫貝有子、菅原 正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、高久 彩、高橋明美、
千見寺泰臣、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、
野上吉樹、野沢松代、橋本弓子、塙 和男、林きぬ子、比嘉洋子、黛 佳代子、三村美代子、
宮田 守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。

〈整理事業参加者〉（敬称略）

石垣ゆき子、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、富岡康子、中田藤子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として	遺構平面図・遺物出土状況図	1:60
炉等の詳細図	土器実測図	土器拓影図・石器実測図
1:30	1:4	1:3

 (2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
 (3)遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
5. 本報告の出土品・記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1994年度 埋蔵文化財調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面積(m ²)	原 因	調査期間	調 査 結 果
1	西台遺跡第2地点	大井897-1、2	6,149	遊 技 場 建 設	4/4～4/12	試掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 集石 土坑
2	本村遺跡第35地点	大井357-1	452	共同住宅建設	4/4～4/12	試掘調査 遺構なし
3	西ノ原遺跡第69地点	苗間106	1,821	店 舗 建 設	4/8～4/27	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 屋外炉 土坑
4	西ノ原遺跡第70地点	苗間136	551	店 舗 建 設	5/9～5/17	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 伏甕 土坑 ピ ット
5	東台遺跡第22地点	大井651-6	145.53	店 舗 建 設	5/10～5/11	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 土坑
6	小田久保遺跡第3地点	大井1214-3	330	個人住宅建設	6/7	試掘調査 遺構なし
7	西ノ原遺跡第71地点	苗間112	309	個人住宅建設	6/20～7/5	試掘調査 時期不明 おとし穴
8	東台遺跡第23地点	大井649-12、13	285.91	個人住宅建設	6/23～6/27	試掘調査 縄文時代 住居跡
9	東台遺跡第24地点	大井634-20	58.49	個人住宅建設	7/6	試掘調査 縄文時代 集石 土坑
10	鶴ヶ舞遺跡第3地点	鶴ヶ舞1-69-1	141	駐 車 場 造 成	7/10	試掘調査 遺構なし
11	本村遺跡第36地点	大井101-9-10	890	共同住宅建設	7/28～8/4	大井町遺跡調査会で発掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 土坑 中近世 井戸 溝 土坑 柵列
12	亀居遺跡第38地点	鶴ヶ岡2-1-1他	3,162.14	店 舗 建 設	8/22～8/30	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 集石 土坑 おとし穴 近世 根切溝
13	亀居遺跡第39地点	亀久保1008-5	342	駐 車 場 造 成	8/26～8/29	試掘調査 縄文時代 炉穴 土坑
14	本村遺跡第37地点	大井251	596	事 務 所 建 設	8/31～9/2	試掘調査 遺構なし
15	本村遺跡第38地点	大井253	264.53	個人住宅建設	8/30～9/7	試掘調査 中近世 溝
16	浄禅寺跡遺跡第8地点	苗間357-1	615	宅 地 分 譲	9/20～9/27	試掘調査 時期不明 おとし穴 近世 根切溝
17	浄禅寺跡遺跡第9地点	苗間353	1,266	農 地 改 良	10/18	試掘調査 時期不明 土坑 溝 焼土
18	浄禅寺跡遺跡第10地点	苗間356-1	999.09	宅 地 分 譲	10/31～11/2	大井町遺跡調査会で発掘調査 近世 土壌墓 一石経埋納土坑 溝
19	東台遺跡第25地点	大井648-13、14	296.04	個人住宅建設	10/22～12/16	本調査 縄文中～後期 住居跡 土坑 袋状土壌 ピット 6 委保記第5-5066号
20	西ノ原遺跡第72地点	苗間112-109	321.47	個人住宅建設	11/2～11/28	本調査 縄文中期 住居跡 土坑 近世 溝 6 委保記第5-6583号
21	本村遺跡第39地点	大井124-1	805	共同住宅建設	11/9～11/16	試掘調査 遺構なし
22	本村遺跡第40地点	大井321-1	131	宅 地 分 譲	11/22	試掘調査 遺構なし
23	本村遺跡第41地点	大井326	413	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
24	本村遺跡第42地点	大井325	201	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
25	浄禅寺跡遺跡第11地点	苗間352-1他	572	道 路 築 造	1/9～2/3	試掘調査 時期不明 湧水口 焼 土
26	本村遺跡第43地点	大井153-2、3	704	宅 地 分 譲	1/12～1/19	大井町遺跡調査会で発掘調査 中近世 井戸 土坑 溝 柵列
27	江川東遺跡第2地点	東久保1-162-34	190.90	個人住宅建設	1/20～2/6	本調査 近世 土坑 ピット 7 委保記第5-856号
28	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198.68	共同住宅建設	2/17～2/28	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 土坑 おとし穴 中近世 井戸 土坑 道路跡 ピット
29	神明後遺跡第3地点	苗間309-12-13	200.03	宅 地 分 譲	3/24～3/29	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡埋甕 土坑 ピット 近世 溝
30	西ノ原遺跡第73地点	苗間92-1	274	個人住宅建設	3/27～3/29	試掘調査 遺構なし
	調査面積合計		23,543.81			

(9) 本村遺跡

砂川堀の左岸、小田久保遺跡の下流にある。遺跡内は旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。西隣にある大井氏館跡遺跡もそうした舌状に取り残された微高地の一つである。標高は西の微高地で20m、そこからだらだらと下がり、東の下流域では15mになる。今までの調査によって判明したことは、微高地から埋没河川に沿って旧石器時代の礫群、縄文時代早期の炉穴が点在し、おとし穴も検出している。さらに以前は古地名や、伝承等で想定していた旧村落も、発掘調査により中世から近世前半にかけて存在していたことが明らかとなってきた。

遺跡は大井・苗間第一土地区画整理事業の中にある。前年度で区画整理事業が終了したこともあり、民間開発が一気に増大してきた。今年はそうした開発の事前調査が大半を占めた。

(9)－1 本村遺跡第35地点

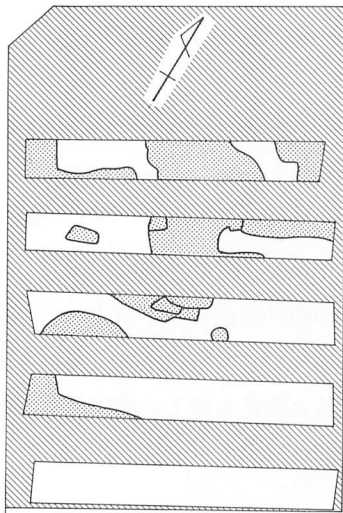
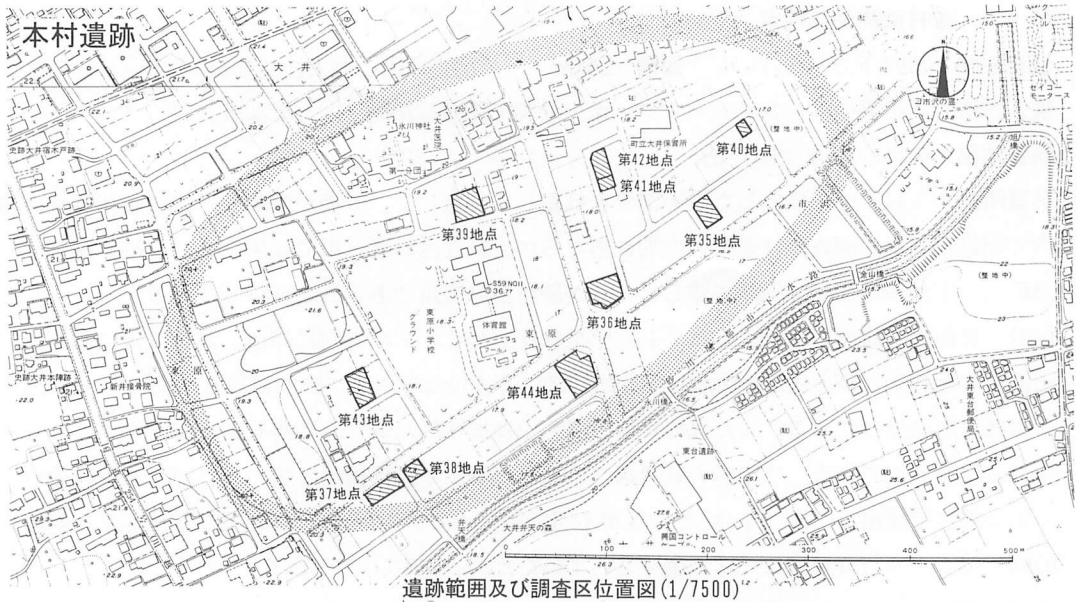
調査期間 1994,4,4～4,12 面積 452m² 調査原因 共同住宅建設
 調査方法 2m幅のトレンチを5本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。
 調査結果 全面で盛り土されていたうえ、攪乱も多かった。遺構無し。
 調査所見 遺跡の東端縁辺部にあたり、遺構密度の薄い地域と思われる。

(9)－2 本村遺跡第36地点

調査期間 1994,7,28～8,4 面積 890m² 調査原因 共同住宅建設
 調査方法 2m幅のトレンチを6本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。
 調査結果 旧石器時代（礫群2ヶ所）、縄文時代（土坑2基）、中世～近世（井戸2基、土坑16基、溝2条、柵列、ピット群）
 調査所見 全域で溝や土坑等の遺構を確認したため、原因者負担による本調査を1994年9月2日から10月31日にかけて大井町遺跡調査会が実施。調査区は遺跡の中心より若干南東に位置する。現砂川堀から100m北にあるが、調査区の西側は黒色土が堆積し、以前埋没河川があったことを示している。礫群は埋没河川の縁で検出し、溝、柵列もほぼ埋没河川に並行している。中世村落の一角を確認できた。

(9)－3 本村遺跡第37地点

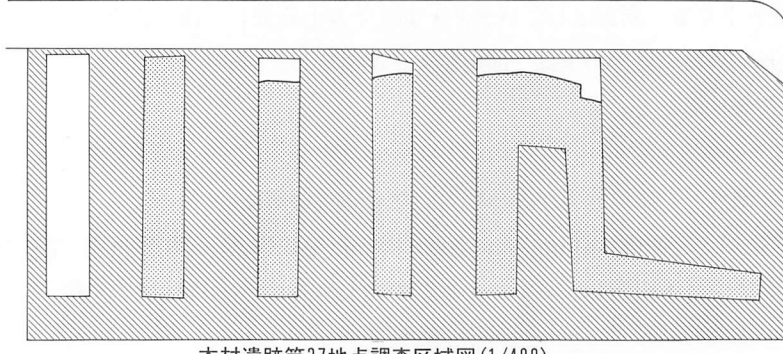
調査期間 1994,8,31～9,2 面積 596m² 調査原因 土地区画整理事務所建設
 調査方法 2m幅5本、1m幅1本のトレンチをバック・ホウで表土除去した後、人力で精査。
 調査結果 全面で1m以上の深さで天地返しがされていたため、遺構は一切確認できなかった。
 調査所見 遺跡の南端部にあたり、東隣の第38地点の調査結果から推定すれば、砂川堀の氾濫域である黒色土の水成堆積が始まる部分になる。本来は調査区の北にある第20地点から東の第38地点に抜けるように溝が調査区内を通っていたと思われる。



本村遺跡第35地点調査区域図(1/400)



本村遺跡第36地点遺構配置図(1/400)



本村遺跡第37地点調査区域図(1/400)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 cm

第13図 試掘調査位置図及び調査区域図(10)

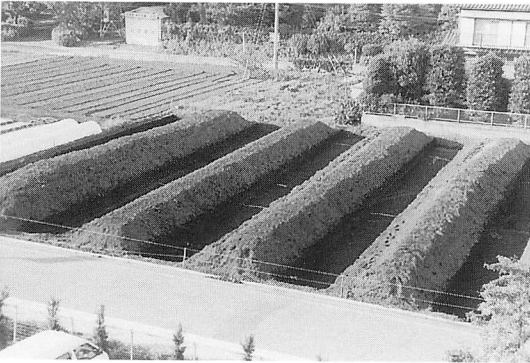
本村遺跡



本村遺跡第36地点 試掘



本村遺跡第36地点 本調査



本村遺跡第39地点



本村遺跡第40地点



本村遺跡第41・42地点 試掘



本村遺跡第41・42地点 本調査



本村遺跡第 43 地点 試掘



本村遺跡第 43 地点 本調査

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。



2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

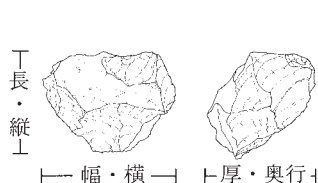
3. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 砥石実測図の断面における矢印の表示は、実線が砥面を、一点鎖線が加工痕の残存面を表す。
- (3) 遺物実測図におけるscreen-toneの指示。



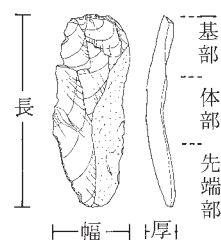
(4) 出土遺物観察表に記載した計測部位及び遺存部位は以下のとおりである。

〈石核〉



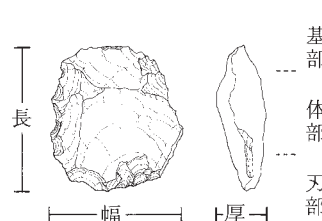
最終剥離面を正面とする。

〈剥片・その他の剥片石器およびRF〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈スクレイパー(石匙を含む)〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石鏃〉

素材剥片の背面を上面とする。



- 遺存部位
- A. 先端部+体部+両脚
 - B. 先端部+体部+片脚
 - C1. 先端部+体部
 - C2. 両脚+体部
 - C3. 片脚+体部
 - D1. 先端部
 - D2. 体部
 - D3. 両脚
 - D4. 片脚
 - E. 縦割れ
 - F. その他・不明

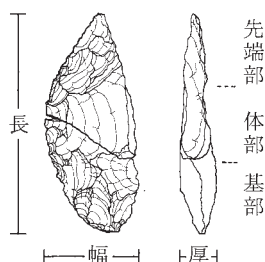
〈ナイフ形石器/尖頭器〉

ナイフ形石器



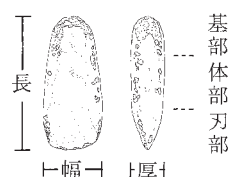
- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

尖頭器



磨製石斧

〈磨製石斧/打製石斧〉



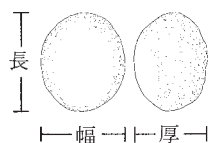
- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

打製石斧

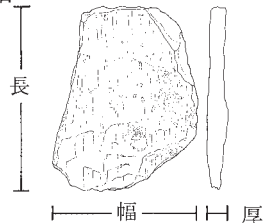


〈磨石/凹石〉

磨石



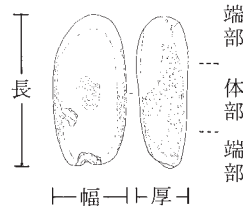
凹石



遺存部位

- A. 完形
- B. 残存率 3/4～
- C. 残存率 1/2～3/4
- D. 残存率 1/4～1/2
- E. 残存率 1/4以下

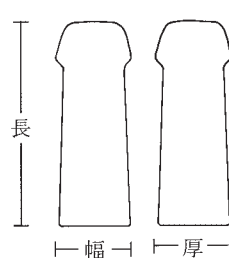
〈敲石/石錘〉



端部
体部
端部

- 遺存部位
- A. 端部+体部+端部
 - B. 端部+体部
 - C1. 端部
 - C2. 体部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石棒〉



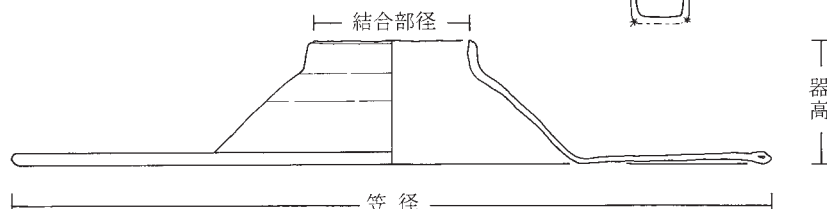
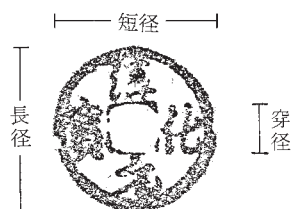
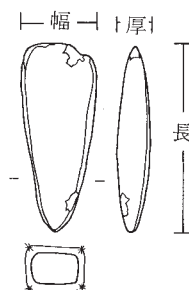
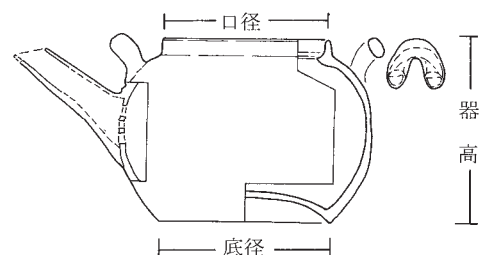
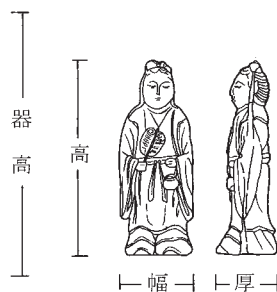
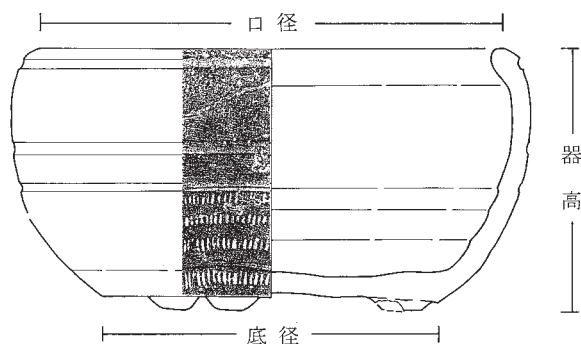
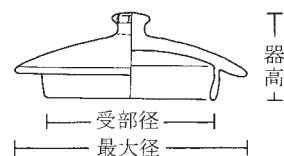
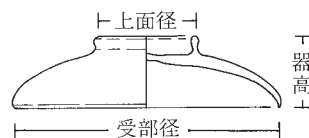
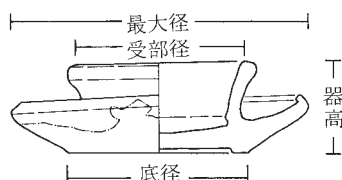
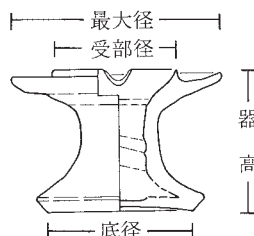
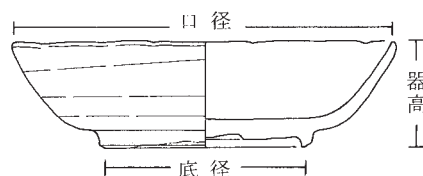
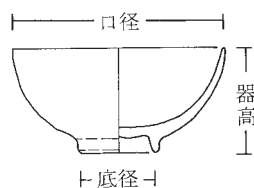
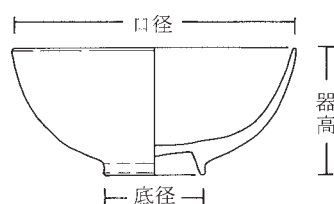
先端部
体部
基部

- 遺存部位
- A. 先端部+体部+基部
 - B1. 先端部+体部
 - B2. 体部+基部
 - C1. 先端部
 - C2. 体部
 - C3. 基部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈碎片〉

長さ、幅、厚さともに最大を計測。

〈陶磁器/土器/銭貨/ガラス製品〉



Ⅱ 本村遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第4図）

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

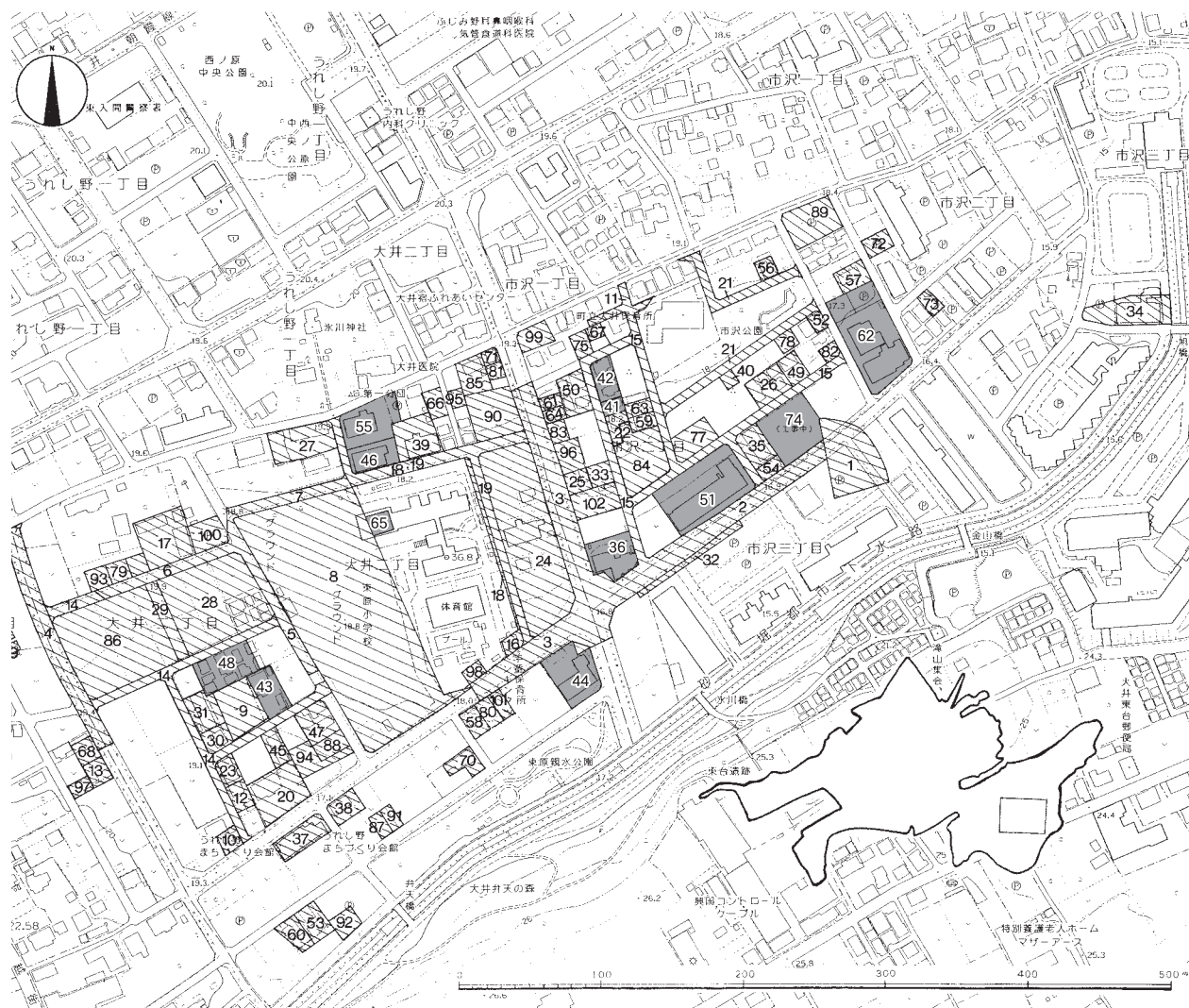
砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川堀と言うのが現在の状況である。町内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を偲ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大

集落と奈良・平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場及び集落とみることができる。

いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2004年6月現在110ヵ所の試掘及び本調査を行い、旧石器時代の礫群・石器ブロック、縄文時代の落とし穴・炬穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式坑・茶毘跡、近代遺構等を多数検出している。



第4図 本村遺跡の地形と調査区（1/5,000）

2 本村遺跡第36地点

(1) 調査の概要

本地点は本村遺跡の中央部やや南に位置し、本地点から南へ約100mの地点には、砂川堀が東流している。また、本地点は東側が第15地点、西側が第3地点、南側が第2地点と接している。

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より1994年6月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。そして申請地が遺跡範囲内に位置するため7月28日から8月4日にかけて試掘調査を実施した。調査の方法は幅2mのトレンチを6本設定し、重機による表土除去・人力による精査を行った。

試掘調査の結果は、旧石器時代の礫群、縄文時代の土坑、中世以降の遺構などが確認されたため、大井町遺跡調査会が主体となって、9月2日から10月31日まで本調査を行った。

(2) 遺構と遺物 (第5～14図、第1～3表、

図版1～4・49～51)

旧石器時代の礫群2ヵ所、縄文時代の落とし穴1基・土坑4基・縄文ピット1基、中世以降の井戸2基・土

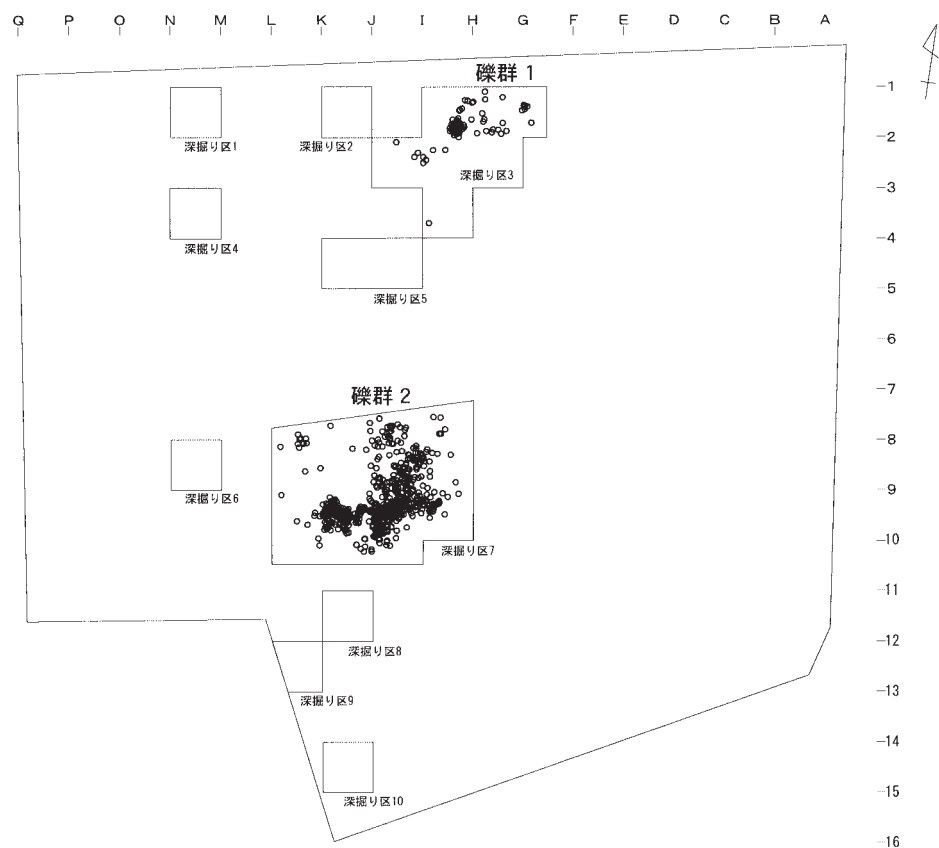
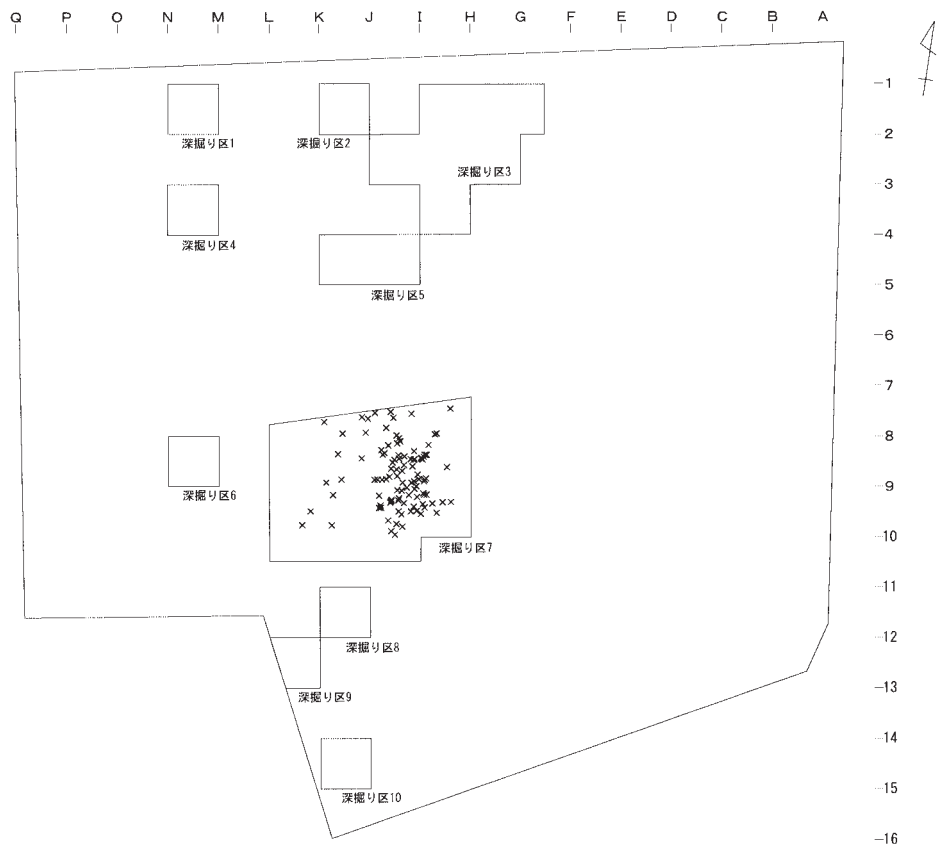
坑16基・溝3条、柵列1、ピット21基を検出した。また、調査区の西側には黒色土が堆積している箇所があり、これは埋没河川であったことが判明した。礫群は埋没河川の縁で、落とし穴・溝・柵列もほぼ埋没河川に平行している。

出土遺物は、旧石器時代の石器116点・礫697点、磁器1点、陶器7点、土器5点、金属製品2点、銭貨4点、石製品1点、ガラス製品1点、その他1点である。

このように本地点からは、旧石器時代の遺物が多数出土しており、その出土分布は先述したように礫群が本地点中央部と北側の2ヵ所に分布しているのに対し、石器は中央部に集中する(第6図)。いずれにせよ旧河道に規制された分布を示していることを含めて、旧石器時代の土地利用を示している。また、第14図16・17の淳化元寶・天禧通寶といった渡来銭や、18・19・22・23などの渥美系や知多古窯系の大甕及び21の瓦質播鉢のあり方は、12世紀以降の土地利用を示唆するものと思われるが、本地点における明確な当該期の居住痕跡は認められず、そのあり方の解明は周辺調査地点とともに今後の課題である。(鳥越多工摩)



第5図 本村遺跡第36地点遺構配置図 (1/300)



0 10 20m

第6図 本村遺跡第36地点旧石器時代の石器(上)・礫(下)出土分布図(1/300)

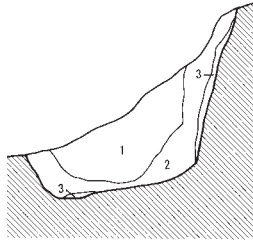
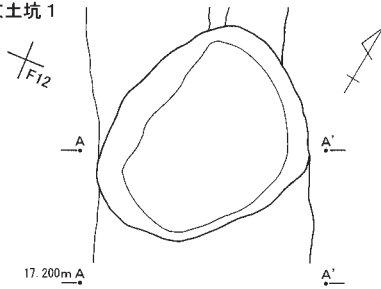
第1表 本村遺跡第36地点遺構観察表

() は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺構名	形 状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出 土 遺 物	備 考
7	縄文土坑1	楕円	0.92	0.73	0.71	—	溝3に切られる／写1
	縄文土坑2	長楕円	2.54	0.84	0.88	—	写1
	縄文土坑3	卵形	1.65	0.97	0.21～0.31	縄文土器1	—
	縄文土坑4	不整形	3.84	1.99	0.22～0.38	—	写2
	落とし穴	長楕円	3.72	1.14	0.62～0.78	—	写2
8	縄文ピット1	瓢箪	2.32	1.70	0.12～0.32	—	—
	井戸1	楕円	1.36	1.05	1.82	—	写4
	井戸2	楕円	0.93	0.85	1.48	—	写4
	土坑8	隅丸長方形？	(1.33)	0.95	0.54	—	溝1に切られる
	土坑12	隅丸長方形	2.43	1.23	0.33	—	溝1・2に切られる／写3
9	土坑13	方形	1.10	0.94	0.28	土器5	溝1に切られる／写3
	溝1	—	(15.20)	0.67～0.84	0.20～0.23	—	土坑8・12・13を切る／写4
	溝2	—	(11.50)	0.42～0.74	0.08	—	土坑12を切る／写4
	溝3	—	(28.55)	0.92～2.54	0.46～0.61	陶器3、石製品1、金属製品1、鉄貨4	縄文土坑1を切る／写4
10	柵列-P1	楕円	0.32	0.23	0.39	—	写4
	柵列-P2	楕円	0.42	0.32	0.66	—	写4
	柵列-P3	—	—	—	—	—	写4
	柵列-P4	—	—	—	—	—	写4
	柵列-P5	楕円	0.41	0.32	0.46	—	写4
	柵列-P6	楕円	0.58	0.36	0.70	—	写4
	柵列-P7	円	0.28	0.24	0.80	—	写4
	柵列-P8	—	—	0.44	0.46	—	写4
	柵列-P9	楕円	0.54	0.44	0.46～0.48	—	写4
	柵列-P10	楕円	0.36	0.30	0.31	—	写4
	柵列-P11	円	0.41	0.36	0.39	—	写4
	柵列-P12	円	0.40	—	0.44	—	写4
	柵列-P13	楕円	0.28	0.20	0.44	—	写4
	柵列-P14	楕円	0.36	0.30	0.40	—	写4
	柵列-P15	—	—	0.27	0.26	—	写4
	柵列-P16	—	—	0.25	0.24	—	写4
	柵列-P17	円	0.42	0.39	0.64	—	写4
	柵列-P18	楕円	0.57	0.26	0.42	—	写4
	柵列-P19	楕円	0.44	0.35	0.50	—	写4
	柵列-P20	楕円	0.34	0.28	0.54	—	写4
	柵列-P21	隅丸方形	0.28	0.30	0.28	—	写4
	柵列-P22	楕円	0.43	0.36	0.49	—	写4
	柵列-P23	—	—	0.28	0.62	—	写4
	柵列-P24	楕円	0.27	0.16	0.34	—	写4
	柵列-P25	楕円	0.40	0.33	0.50	—	写4
	柵列-P26	楕円	0.34	0.30	—	—	写4
	柵列-P27	—	—	0.22	—	—	写4
	柵列-P28	—	0.38	—	0.57	—	写4
	柵列-P29	楕円	0.44	0.38	0.91	—	写4
	柵列-P30	楕円	0.45	0.38	—	—	写4
	柵列-P31	楕円	0.44	0.30	0.59	—	写4
	柵列-P32	楕円	0.40	0.32	—	—	写4
	柵列-P33	楕円	—	0.27	0.74	—	写4
	柵列-P34	—	0.42	—	0.68	—	写4
	柵列-P35	—	0.28	—	0.58	—	写4
	柵列-P36	—	—	—	0.55	—	写4
	柵列-P37	楕円	0.50	0.35	—	—	写4
	柵列-P38	楕円	0.45	0.39	0.83	—	写4
	柵列-P39	楕円	0.36	0.30	0.42	—	写4
	柵列-P40	楕円	0.32	0.26	0.29	—	写4
	柵列-P41	—	—	0.30	—	—	写4
	柵列-P42	隅丸方形	0.48	0.40	0.60	—	写4
	柵列-P43	—	—	0.35	0.66	—	写4
	柵列-P44	—	—	0.25	0.26	—	写4
	柵列-P45	—	0.34	—	0.51	—	写4
	柵列-P46	楕円	0.60	0.48	0.64	礫1	写4
	柵列-P47	—	(0.18)	—	—	—	写4
	柵列-P48	円	0.28	0.23	—	—	写4
	柵列-P49	楕円	(0.41)	0.33	0.21	—	写4
	柵列-P50	—	0.19	—	0.42	—	写4
	柵列-P51	楕円	0.52	0.31	0.60	—	写4
	柵列-P52	楕円	0.46	0.34	0.75	—	写4
	柵列-P53	円	0.48	0.46	—	—	写4
	柵列-P54	楕円	0.70	0.34	0.70	—	写4
	柵列-P55	楕円	0.40	0.28	0.70	—	写4
	柵列-P56	円	0.32	0.30	0.59	—	写4
	柵列-P57	楕円	0.48	0.32	0.44	—	写4
	柵列-P58	円	0.50	—	0.68	—	写4
	柵列-P59	楕円	0.42	—	0.36	—	写4
	柵列-P60	円	0.41	(0.38)	0.73	—	写4
	柵列-P61	—	(0.42)	—	0.74	—	写4
	柵列-P62	瓢箪	0.70	0.32～0.34	0.74	—	写4
	柵列-P63	楕円	0.68	0.44	0.48	—	写4
	柵列-P64	楕円	0.41	0.29	0.47	—	写4
	柵列-P65	楕円	0.41	0.30	0.48	—	写4
	柵列-P66	円	0.43	(0.34)	0.32	—	写4
	柵列-P67	—	—	0.30	0.79	—	写4
	柵列-P68	楕円	0.32	0.28	0.64	—	写4
	柵列-P69	楕円	0.50	0.35	0.77	—	写4
	柵列-P70	円	0.40	0.34	0.45	—	写4
	柵列-P71	楕円	0.28	0.26	0.54	—	写4
	柵列-P72	円	0.28	0.26	0.41	—	写4
	柵列-P73	楕円	0.32	0.32	0.54	—	写4
	柵列-P74	楕円	0.40	0.31	0.60	—	写4
	柵列-P75	円	0.18	(0.17)	0.60	—	写4

図版 番号	遺構名	形 状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出 土 遺 物	備 考
10	櫓列-P76	円	0.14	(0.13)	0.61	—	写4
	櫓列-P77	—	—	0.16	0.16	—	写4
	櫓列-P78	—	(0.37)	(0.28)	0.68	—	写4
	櫓列-P79	—	0.48	0.40	0.54	—	写4
	櫓列-P80	楕円	0.37	(0.31)	0.54	—	写4
	櫓列-P81	楕円	0.34	0.28	0.28	—	写4
	櫓列-P82	楕円	0.40	0.34	0.46	—	写4
	櫓列-P83	楕円	0.36	0.26	0.40	—	写4
	櫓列-P84	楕円	(0.30)	0.20	0.18	—	写4
	櫓列-P85	楕円	0.38	0.30	0.24	—	写4
	櫓列-P86	円	0.38	0.358	0.60	—	写4
	櫓列-P87	楕円	0.28	0.20	0.18	—	写4
	櫓列-P88	楕円	0.34	0.24	0.26	—	写4
	櫓列-P89	隅丸長方形	0.35	0.26	0.23	—	写4
	櫓列-P90	楕円	0.54	0.35	0.83	—	写4
	櫓列-P91	楕円	0.22	0.19	0.30	—	写4
	櫓列-P92	楕円	0.38	0.20	0.18	—	写4
	櫓列-P93	—	—	0.24	0.56	—	写4
	櫓列-P94	—	—	0.26	0.56	—	写4
	櫓列-P95	楕円	0.28	0.21	0.23	—	写4
9	櫓列-P96	隅丸長方形	0.34	0.22	0.19	—	写4
	櫓列-P97	隅丸方形	0.30	0.28	0.36	—	写4
	櫓列-P98	楕円	0.28	0.24	0.54	—	写4
	櫓列-P99	隅丸方形	0.27	0.26	—	—	写4
	櫓列-P100	—	0.28	0.21	—	—	写4
	P83	楕円	0.42	0.36	—	—	溝1底ビット/写4
	P85	楕円	0.43	0.32	—	—	溝1底ビット/写4
	P87	—	0.32	—	—	—	溝1底ビット/写4
	P88	楕円	0.33	0.28	—	—	溝1底ビット/写4
	P89	楕円	0.40	0.28	—	—	溝2底ビット/写4
	P90	円	0.35	—	—	—	溝1底ビット/写4
	P91	瓢箪	0.46	0.22	—	—	溝2底ビット/写4
	P92	瓢箪	0.41	0.34	—	—	溝2底ビット/写4
	P93	楕円	0.26	0.22	—	—	溝2底ビット/写4
	P94	楕円	0.44	0.38	—	—	溝1底ビット/写4
	P96	楕円	0.35	0.20	—	—	溝1底ビット/写4
	P97	楕円	0.22	0.16	—	—	溝2底ビット/写4
	P98	円	0.38	0.32	—	—	溝2底ビット/写4
	P99	楕円	0.29	0.26	—	—	溝2底ビット/写4
	P100	隅丸長方形	0.28	0.18	—	—	溝2底ビット/写4
	P103	楕円	0.31	0.29	—	—	溝3底ビット/写4
	P104	隅丸方形	0.36	0.30	—	—	溝3底ビット/写4
	P105	円	0.34	0.30	—	—	溝3底ビット/写4
	P106	円	0.36	0.32	—	—	溝3底ビット/写4
	P107	楕円	0.33	0.28	—	—	溝3底ビット/写4
	P108	隅丸方形	0.38	0.30	—	—	溝3底ビット/写4
	P109	楕円	0.42	0.26	—	—	溝3底ビット/写4
	P110	—	(0.50)	0.46	—	—	溝3底ビット/写4
	P111	隅丸方形	0.57	0.46	—	—	溝3底ビット/写4
	P112	円	0.24	0.22	—	—	溝3底ビット/写4
	P113	楕円	0.36	0.23	—	—	溝3底ビット/写4
	P114	楕円	0.36	0.18	—	—	溝3底ビット/写4
	P115	隅丸方形	(0.21)	0.21	—	—	溝3底ビット/写4
	P116	楕円	0.75	0.34	—	陶器1、土器1	溝3底ビット/写4
	P117	円	0.29	0.28	—	—	溝3底ビット/写4
	P118	楕円	0.70	0.56	—	—	溝3底ビット/写4
	P119	隅丸方形	0.35	0.26	—	—	溝3底ビット/写4
	P120	楕円	0.50	0.34	—	—	溝3底ビット/写4
	P121	円	0.38	0.36	—	—	溝3底ビット/写4

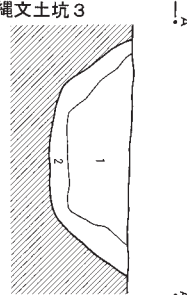
縄文土坑 1



縄文土坑 1 覆土

1. 暗褐色土。締まり強。ローム粒少量。焼土粒微量
2. 暗褐色土。締まり有。ローム塊を斑状に含む
3. 黄褐色土。ソフトローム主体層。褐色土粒含む

縄文土坑 3

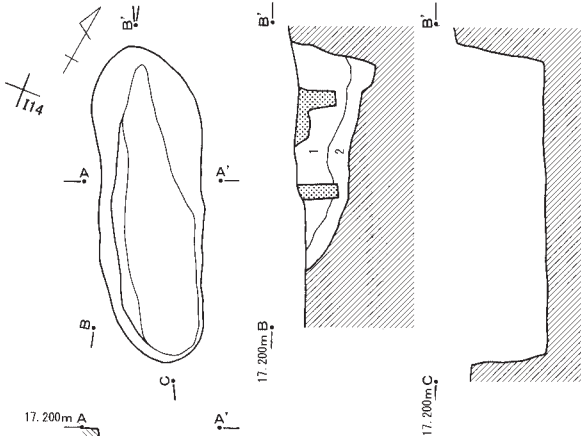


縄文土坑 3 覆土

1. 暗褐色土。ローム粒少量
2. 暗褐色土。ローム塊斑状に含む

0 1 2m

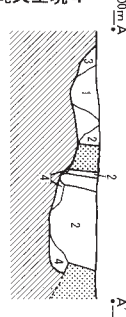
縄文土坑 2



縄文土坑 2 覆土

1. 暗褐色土。締まり有。ローム粒少量
2. 暗褐色土。ローム塊を斑状に含む

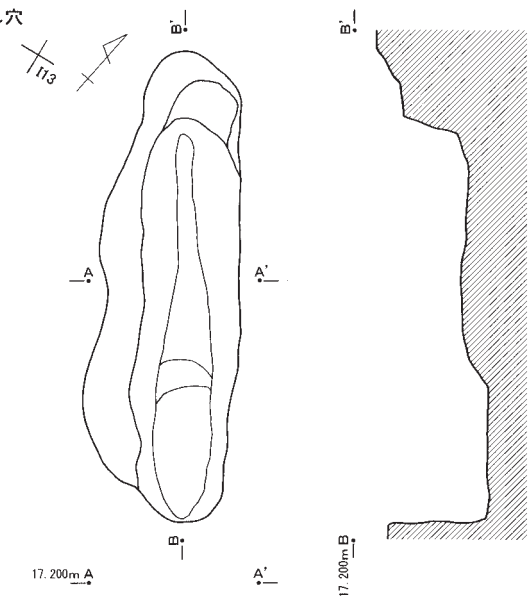
縄文土坑 4



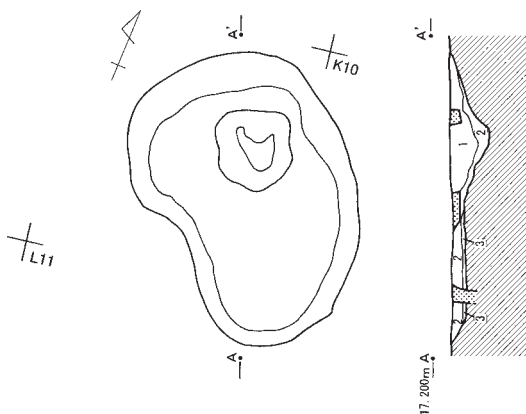
縄文土坑 4 覆土

1. 暗褐色土。締まり有。ローム粒(1mm以下)、焼土粒微量
2. 暗褐色土。1層に類似するがやや暗い。焼土粒少量
3. 暗褐色土。1層に類似するがやや明るい。ローム塊斑状に混入
4. 暗褐色土。ローム塊含む

落とし穴



縄文ピット 1



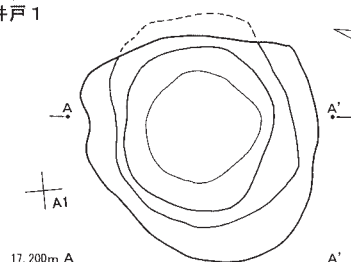
縄文ピット 1 覆土

1. 暗褐色土。締まり強。ローム粒、焼土粒含む
2. 暗褐色土。締まり有。ローム塊少量
3. 黄褐色土。ローム塊中に暗褐色土粒を斑状に含む

0 1 2m

第7図 本村遺跡第36地点縄文土坑1～4 (1/30・1/60)、縄文ピット1、落とし穴 (1/60)

井戸 1



17. 200m A

17. 000m

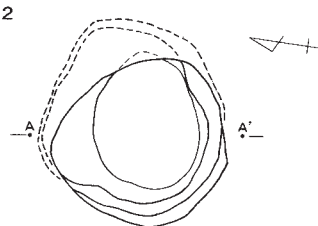
16. 000m

15. 000m

井戸 1 覆土

1. 黒褐色土. 締まり有. ローム粒少量
2. 暗褐色土. 締まり有. ローム塊多量
3. 黄褐色土. 締まり有. ローム粒主体層
4. 黒褐色土. 1層と類似
5. 黄褐色土. 3層と類似
6. 黒褐色土. 1層と類似
7. 黄褐色土. 3層と類似
8. 暗褐色土. 締まり有. ローム粒多量
9. 黄褐色土. ローム粒主体層. 礫含む
10. 黄褐色土. ローム粒主体層. ロームの粘性増す
11. 黒褐色土. 締まり・粘性やや弱. 粒子細かい
12. 茶褐色土. 粘性有. 茶褐色土粒主体層

井戸 2



17. 200m A

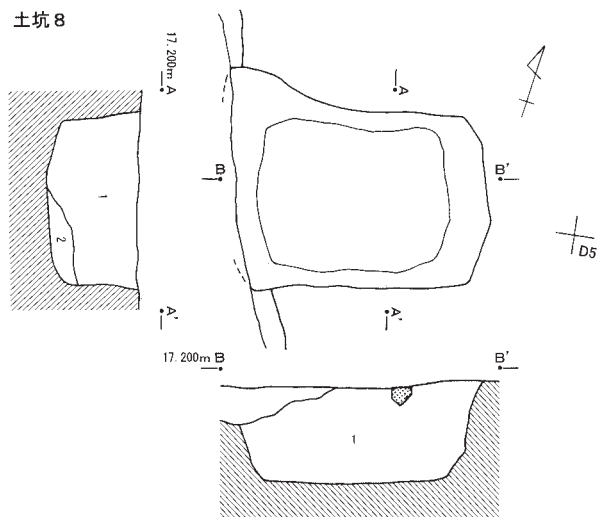
17. 000m

16. 000m

井戸 2 覆土

1. 黒褐色土. 締まり有.
2. 黒褐色土. 粘性・締まり有. 水分を含み、酸化鉄含む
3. 暗褐色土. 粘性・締まり有. ローム塊を斑状に含む
4. 赤褐色土粘土. 粘性・締まり有. 白色粘土塊含む
5. 茶褐色砂質土.

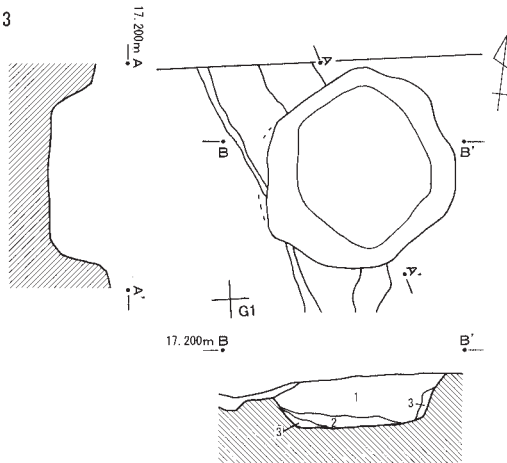
土坑 8



土坑 8 覆土

1. 明褐色土. 締まり有. ローム塊を斑状に含む
2. 暗褐色土. 締まり有. ローム塊を斑状に含む

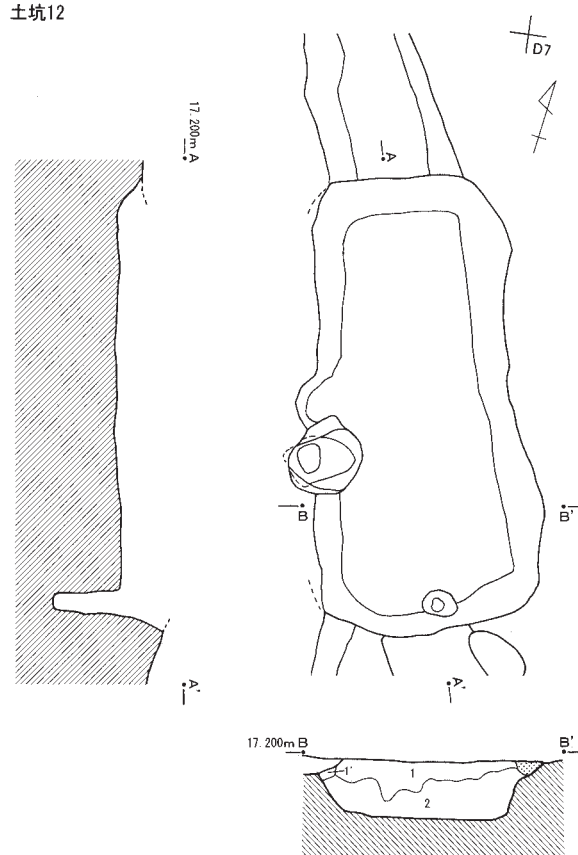
土坑 13



土坑 13 覆土

1. 黒褐色土. 締まり無. ローム粒少量. かわらけ出土
2. 黒褐色土. 締まり無. ローム粒少量. ローム塊多量
3. 明褐色土. 締まり有. ローム粒主体層. 暗褐色土粒少量

土坑 12



土坑 12 覆土

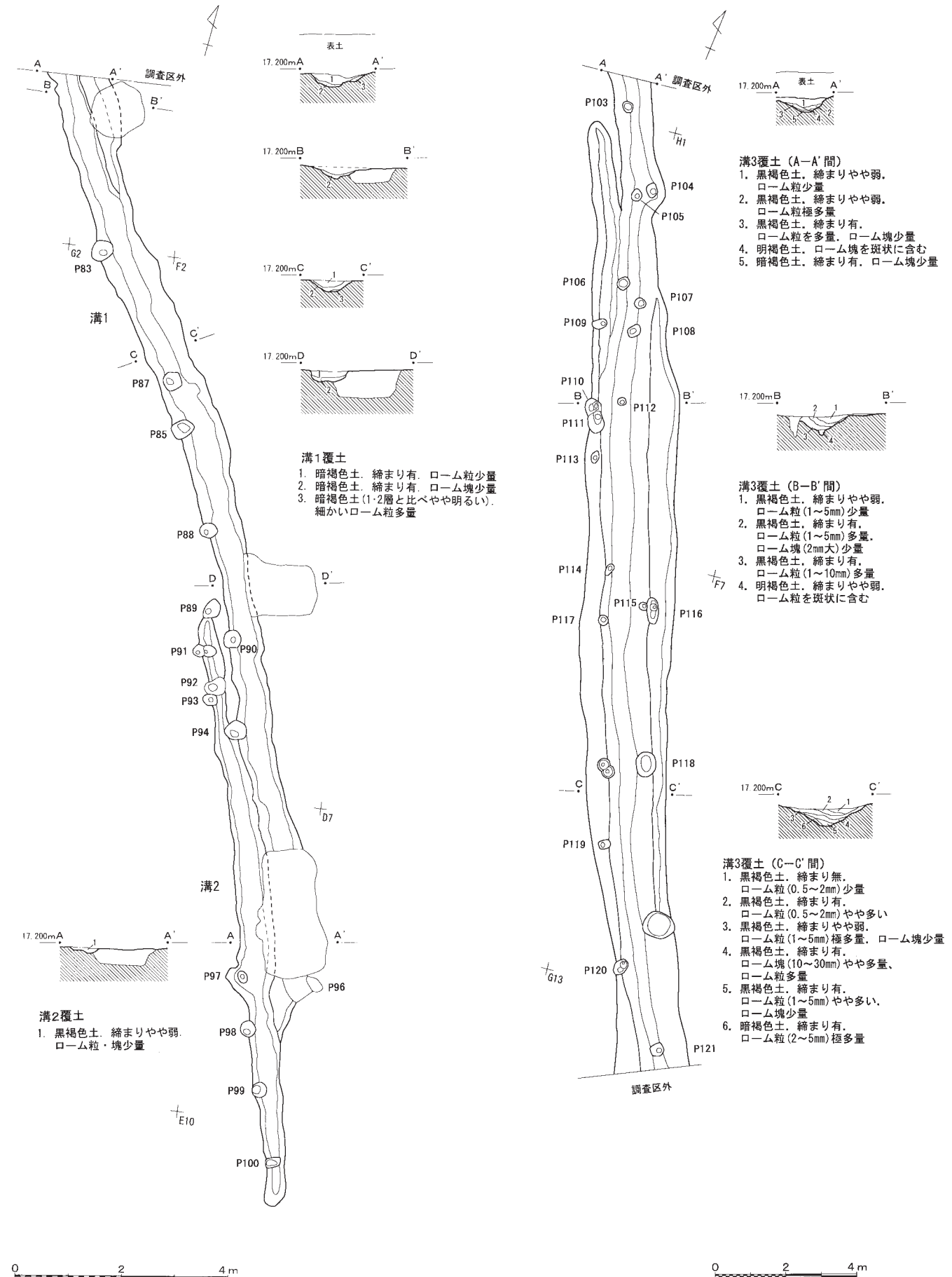
1. 黒褐色土. 締まりやや弱. ローム粒・塊やや多い
- 1'. 黒褐色土. 1層と類似するが、ややローム粒の含有量が多い
2. 暗褐色土. 締まり無. ローム粒多量. ローム塊、褐色土塊少量

0 1 2m

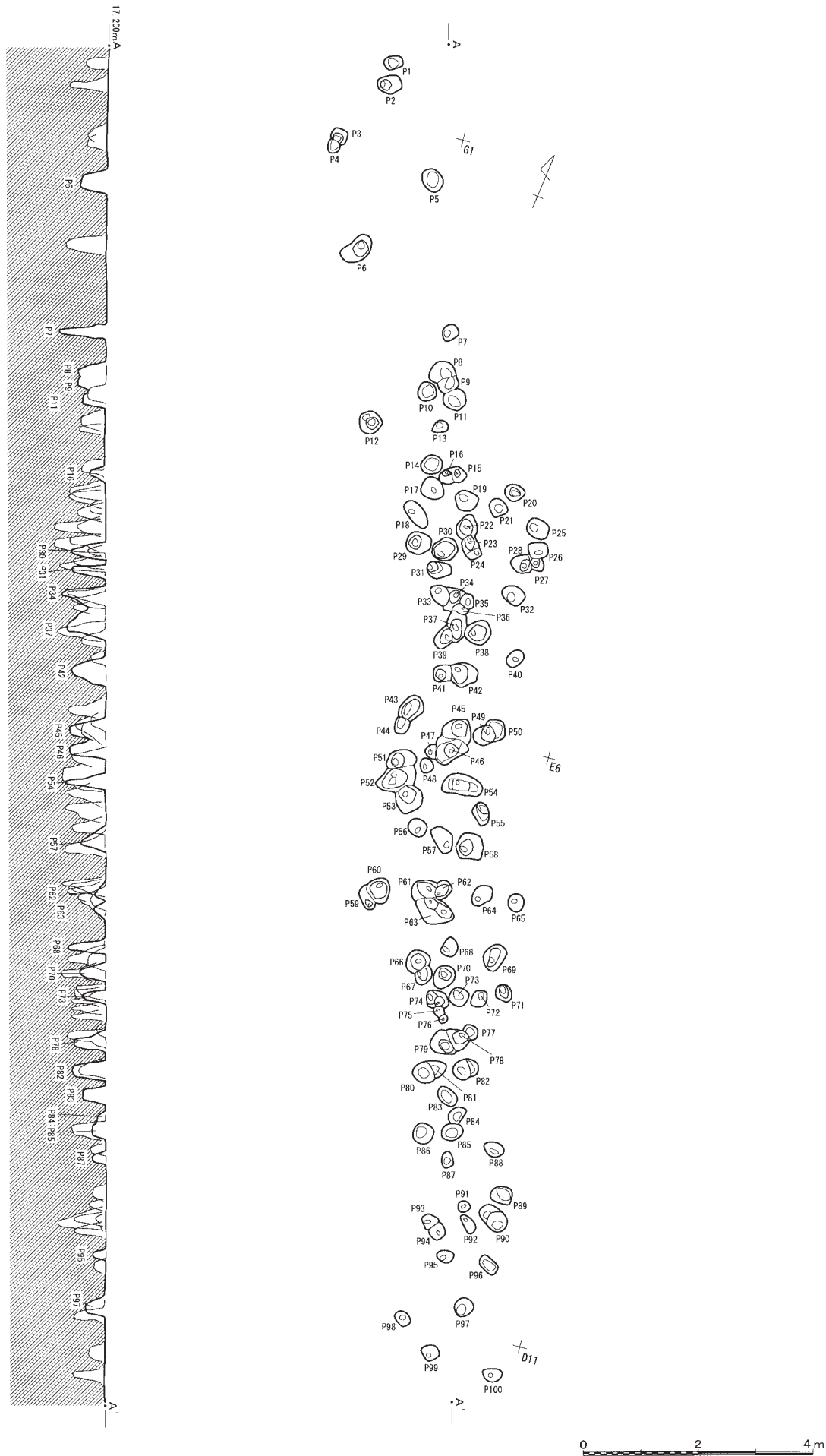
第 8 図 本村遺跡第36地点井戸 1・2、土坑 8・12・13 (1/40)

溝1・2

溝3



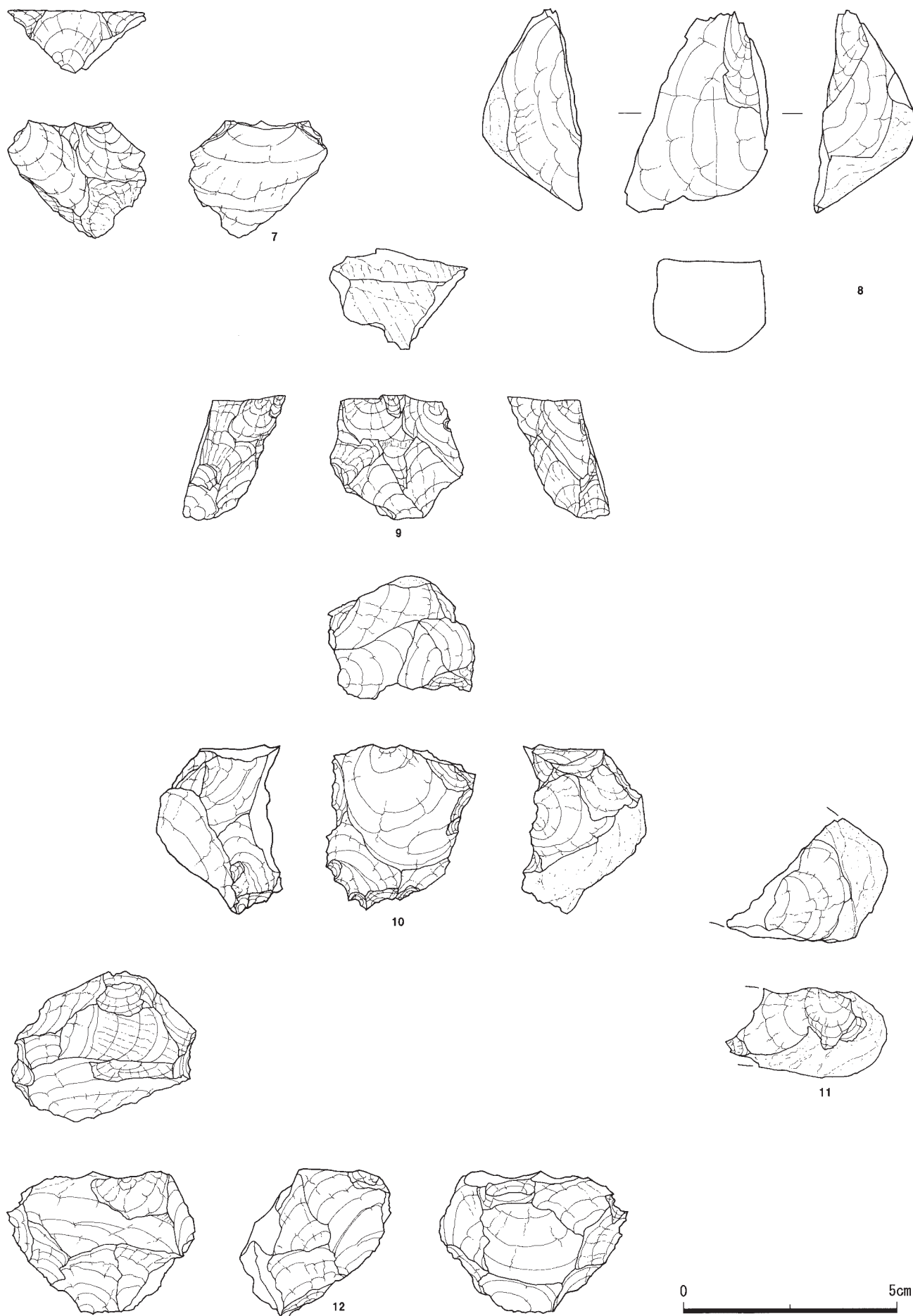
第9図 本村遺跡第36地点溝1~3 (1/100・1/150)



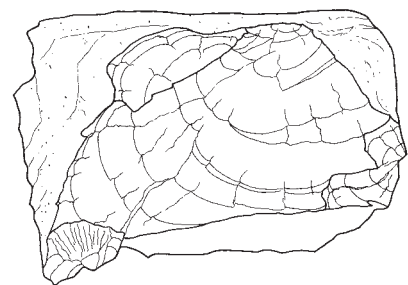
第10図 本村遺跡第36地点柵列 (1/100)



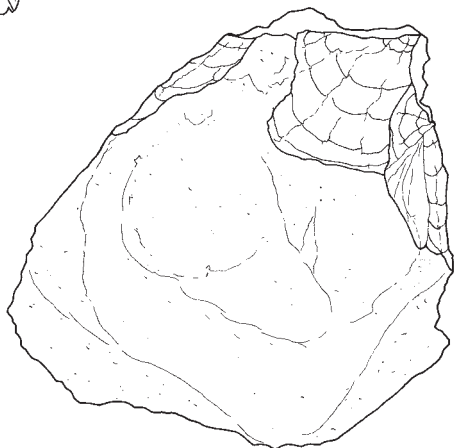
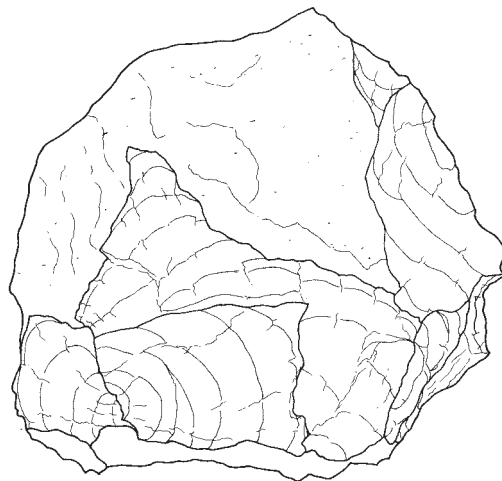
第11図 本村遺跡第36地点出土遺物① 旧石器 (4/5・1/3)



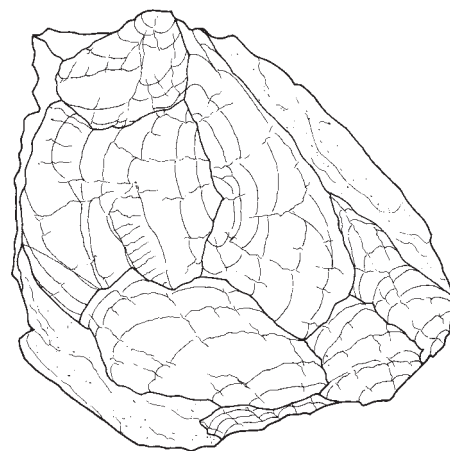
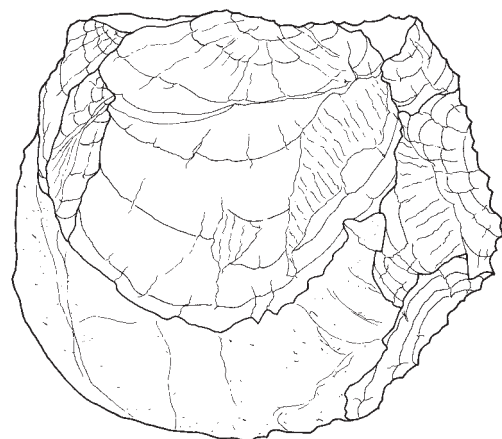
第12図 本村遺跡第36地点出土遺物② 旧石器 (4/5)



13

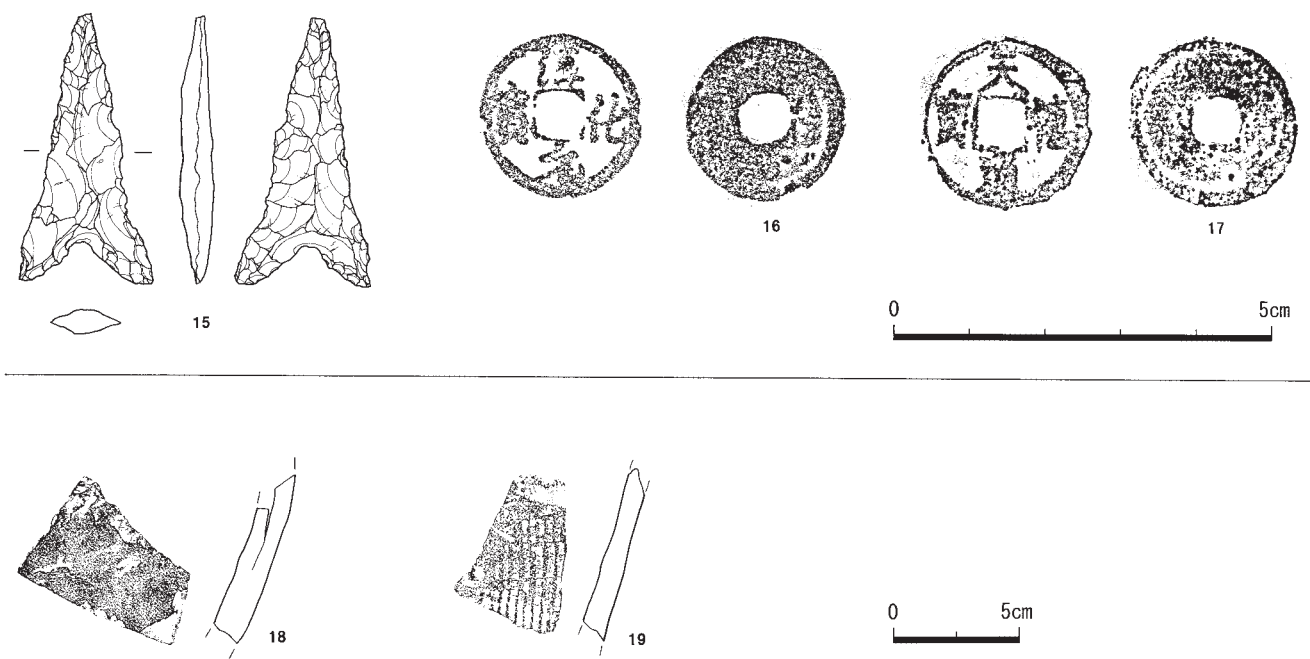


14



第13図 本村遺跡第36地点出土遺物③ 旧石器 (4/5)





第14図 本村遺跡第36地点出土遺物④ 縄文石器・銭貨・中世陶器（1/1・1/3）

第 2 表 本村遺跡第36地点出土遺物観察表① 旧石器・縄文石器

備考欄の写番号は写真図版番号												
図版 番号	遺物 番号	出土地	器 種	石 材	遺存 部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	同個 No.	備 考	
11	1	礫群 2	R F	頁岩	A	3.5	2.6	0.7	4.9	L-7	旧石器／写49	
	2	礫群 2	R F	頁岩	A	6.1	3.0	1.3	32.5		旧石器／彫器か？／写49	
	3	礫群 2	R F	頁岩	A	4.8	3.4	2.2	31.7	L-8	旧石器／写49	
	4	礫群 2	R F	頁岩	A	4.1	3.8	1.3	13.9	L-7	旧石器／写49	
	5	礫群 2	敲石	安山岩	A	8.0	4.1	2.2	84.0		旧石器、敲打痕あり／写49	
	6	礫群 2	礫器	頁岩	A	5.7	6.7	9.8	357.4		旧石器／写49	
12	7	包含層	石核	頁岩	A	2.6	2.4	2.5	9.6	L-8	旧石器／写49	
	8	礫群 2	石核	チャート	A	4.2	3.6	2.2	35.1	L-6	旧石器／写49	
	9	礫群 2	石核	頁岩	A	3.0	2.8	2.4	15.7	L-8	旧石器／写49	
	10	礫群 2	石核	チャート	A	4.1	3.3	3.7	40.4	L-3	旧石器／写49	
	11	礫群 2	石核	チャート	A	4.1	2.4	2.8	21.8	L-4	旧石器／写50	
	12	礫群 2	石核	ホルンフェルス	A	2.4	4.3	3.6	44.6	L-1	旧石器／写50	
13	13	礫群 2	石核	チャート	A	3.5	6.0	5.1	180.4	L-6	旧石器／写50	
	14	礫群 2	石核	チャート	A	6.8	8.2	8.5	514.0	L-5	旧石器／写50	
14	15	礫群 2	石鏃	チャート	A	3.6	1.8	0.4	1.3		縄文／写50	

第 3 表 本村遺跡第36地点出土遺物観察表② 銭貨・陶磁器・土器

備考欄の写番号は写真図版番号												
図版 番号	遺物 番号	出土地	種別・器種・ 細分等	単位cm	推定*	残存()	技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考		
14	16	溝3-No.4	銭貨・淳化元寶	径2.2	厚0.1	穿孔径 0.6×0.7	行書	北宋	淳化元(990)年	完形／写51		
	17	溝3-No.6	銭貨・天禧通寶	径2.3	厚0.1	穿孔径 0.6×0.65		北宋	天禧年間 (1017～1021)	完形／写51		
	18	P 116	陶器・大甕	—	—	(6.80)	紐作り成形、内外2枚の粘土が合わさる、内外面横ナデ	渥美	12C～13C前半	破片／写51		
	19	溝3-No.1	陶器・大甕	—	—	(6.80)	紐作り成形、内外面横ナデ／押印あり	知多	中世	破片／写51		
—	20	縄文土坑3	縄文土器	—	—	(2.2)	横位沈線と縦位条線で格子目状文様	—	縄文中期	破片・胴部／写51		
	21	井戸2	瓦質土器・擂鉢	—	—	(5.7)	紐作り成形	渥美	中世	破片／写51		
	22	溝3-No.7	陶器・大甕	—	—	(6.6)	紐作り成形、内外面横ナデ	知多	中世	破片／写51		
	23	溝3-No.8	陶器・大甕	—	—	(4.8)	紐作り成形、内外面横ナデ	知多	中世	破片／写51		
	24	表土	磁器・碗 端反碗	—	—	(2.2)	ロクロ成形／染付	瀬戸・美濃	19C前半	破片／写51		

報告書抄録

ふりがな 書 名	ほむらいせき ざん 本村遺跡Ⅲ ー本村遺跡第36・41・42・43・44・46・48・51・55・62・65・74地点の発掘調査概要報告書ー						
	なえまひがし くぼ いせき に 苗間東久保遺跡Ⅱ ー苗間東久保遺跡第19・20地点の発掘調査概要報告書ー						
	じょうぜんじあといせき に 浄禅寺跡遺跡Ⅱ ー浄禅寺跡遺跡第10地点の発掘調査概要報告書ー						
	おおいし かんせきいせき に 大井氏館跡遺跡Ⅱ ー大井氏館跡遺跡第10地点の発掘調査概要報告書ー						
シリーズ名	大井町遺跡調査会報告第12集						
編 著 者	梶原 勝・田口哲也・鳥越多工摩・花岡秀雄・前山由美子						
編集機関	埼玉県大井町遺跡調査会		所在地	〒356-8555 埼玉県入間郡大井町中央一丁目1番1号 TEL 049(261)2811			
発 行 日	2004年（平成16年）6月30日						
しやしゅういせき 所収遺跡 地点名	ふりがな 所在地	市町村 コード	北 緯	調査開始	調査面積	調査原因	特記事項
		遺跡 コード	東 経	調査終了	m ²	担当者	
	種別／主な時代、主な遺構、主な遺物						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第36地点	おおい 大井	113221	35° 44′ 58″	1994/9/2		共同住宅	旧石器時代の礫群と 石器が多数出土した が、その分布の違い が明瞭である。
		101-9-10	034	139° 38′ 54″	1994/10/31	890m ²	
	集落跡／旧石器、礫群2、石器・礫／縄文、落とし穴1・土坑4・ピット1／中世以降、井戸2・土坑16・溝3・柵列1・ピット21、磁器・陶器・土器・金属製品・ 銭貨・石製品・ガラス製品						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第41・42地点	おおい 大井	113221	35° 44′ 58″	1994/11/29		宅地開発	「山王焼」と思われ る製品が出土。
		325・326	034	139° 38′ 59″	1994/12/7	614m ²	
	集落跡／近代、土坑9、磁器・陶器・土器・土製品・瓦・金属製品・銭貨・ガラス 製品・石製品・板碑・須恵器／縄文、縄文土器・石器・礫						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第43地点	おおい 大井	113221	35° 44′ 50″	1995/2/23		宅地開発	隣接する第48地点と 併せて考えると、検 出された溝は境界を 表すものか。
		153-2・3	034	139° 38′ 51″	1995/3/29	704m ²	
	縄文、土坑1、石器／中世以降、井戸1・土坑3・溝1・水路跡1・ピット2、陶 器・土器・自然遺物(獣骨)						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第48地点	おおい 大井140	113221	35° 44′ 49″	1995/9/30		宅地開発	中世の宗教的空間や 集落と思われる一角 を検出。
			034	139° 38′ 51″	1995/11/20	1,122m ²	
	集落跡／中世以降、地下式坑3・井戸11・掘立柱建物跡7・柵列4・溝2・水路跡 1・土坑14・ピット101、磁器・陶器・土器・瓦・金属製品・石製品・板碑・石 器・礫						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第44地点	おおい 大井287-1	113221	35° 44′ 57″	1995/4/10		共同住宅	
			034	139° 38′ 51″	1995/5/25	1,198m ²	
	集落跡／縄文、落とし穴1・土坑3／中世以降、井戸1・溝1・柵列1・土坑1・ ピット34、磁器・陶器・土器・板碑・礫						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第46地点	おおい 大井126	113221	35° 44′ 53″	1995/6/1		共同住宅	調査区が隣接してい るため、同時に報告 する。 両地点にまたがる土 坑群を検出。
			034	139° 38′ 57″	1995/7/28	744m ²	
	集落跡／縄文、縄文土器・石器／中世以降、土坑15・ピット7						
ほむらいせき 本村遺跡 だい ちてん 第55地点	おおい 大井	113221	35° 44′ 52″	1996/6/25		共同住宅	
		125-1・38-2	034	139° 38′ 58″	1996/7/31	936m ²	
	集落跡／旧石器、石器群2・礫群5、石器・礫／中世以降、溝1・柵列1・焼土跡 2・土坑26・ピット21、磁器・陶器・土器・礫						



本村遺跡第36地点近景



本村遺跡第36地点礫群 1 遺物出土状況



本村遺跡第36地点礫群 1 遺物出土状況



本村遺跡第36地点礫群 2 調査風景



本村遺跡第36地点礫群 2 遺物出土状況



本村遺跡第36地点礫群 2 遺物出土状況



本村遺跡第36地点縄文土坑 1



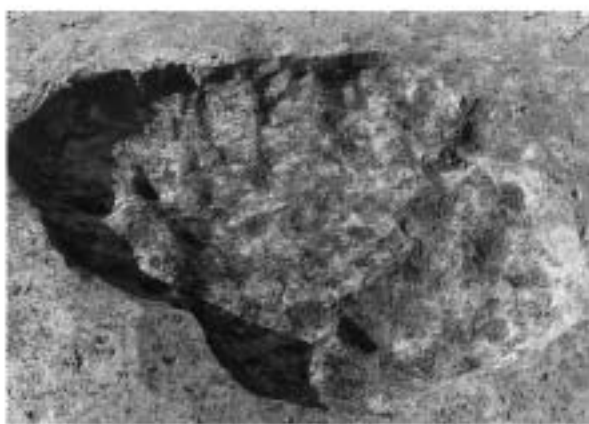
本村遺跡第36地点縄文土坑 2



本村遺跡第36地点縄文土坑 4



本村遺跡第36地点落とし穴



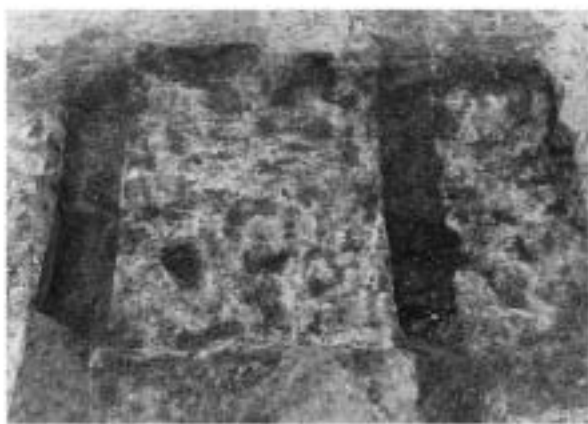
本村遺跡第36地点土坑 1



本村遺跡第36地点土坑 3



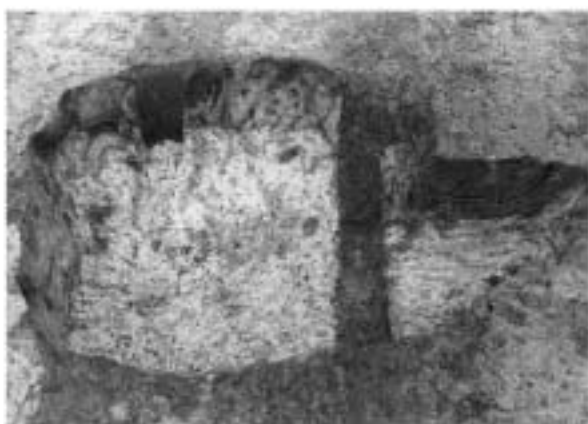
本村遺跡第36地点土坑 4



本村遺跡第36地点土坑 5



本村遺跡第36地点土坑 6



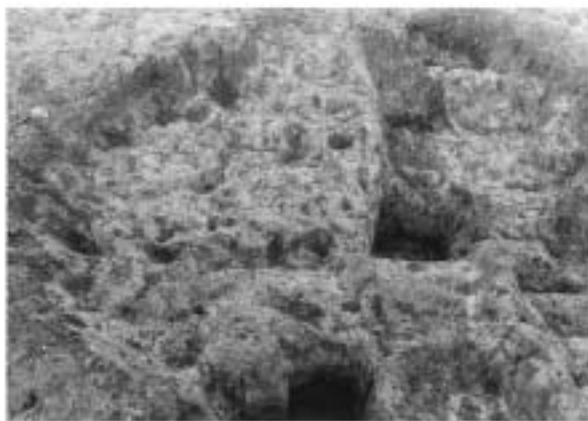
本村遺跡第36地点土坑 7



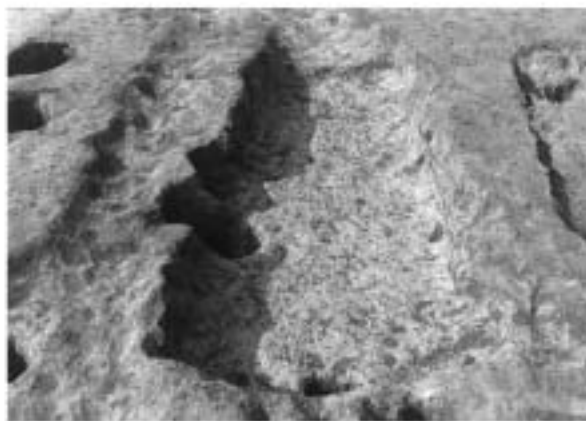
本村遺跡第36地点土坑 9



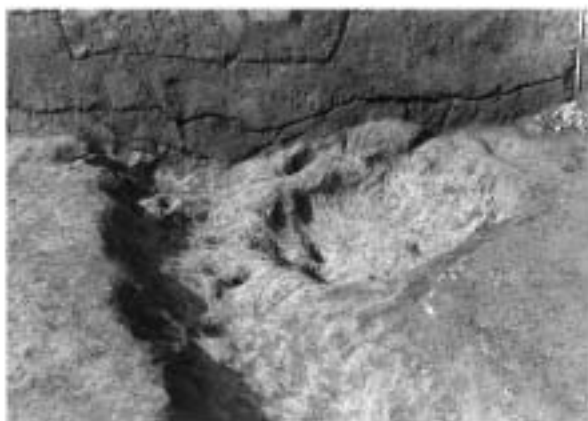
本村遺跡第36地点土坑10



本村遺跡第36地点土坑11



本村遺跡第36地点土坑12



本村遺跡第36地点土坑13



本村遺跡第36地点土坑14



本村遺跡第36地点土坑15



本村遺跡第36地点土坑16



本村遺跡第36地点土坑18



本村遺跡第36地点井戸 1



本村遺跡第36地点井戸 2



本村遺跡第36地点溝 1 (右)
・ 2 (左)



本村遺跡第36地点溝 3



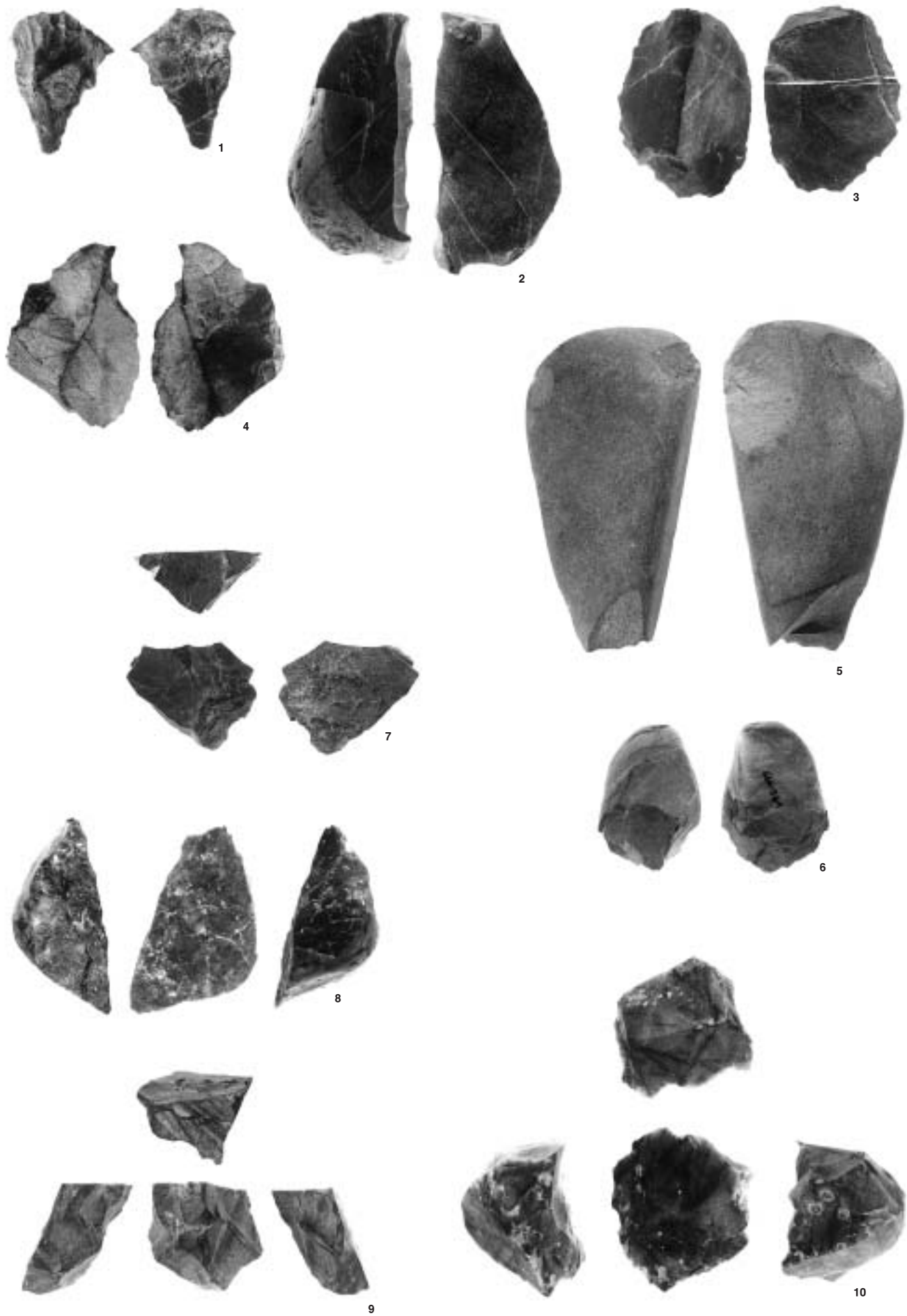
本村遺跡第36地点溝 3

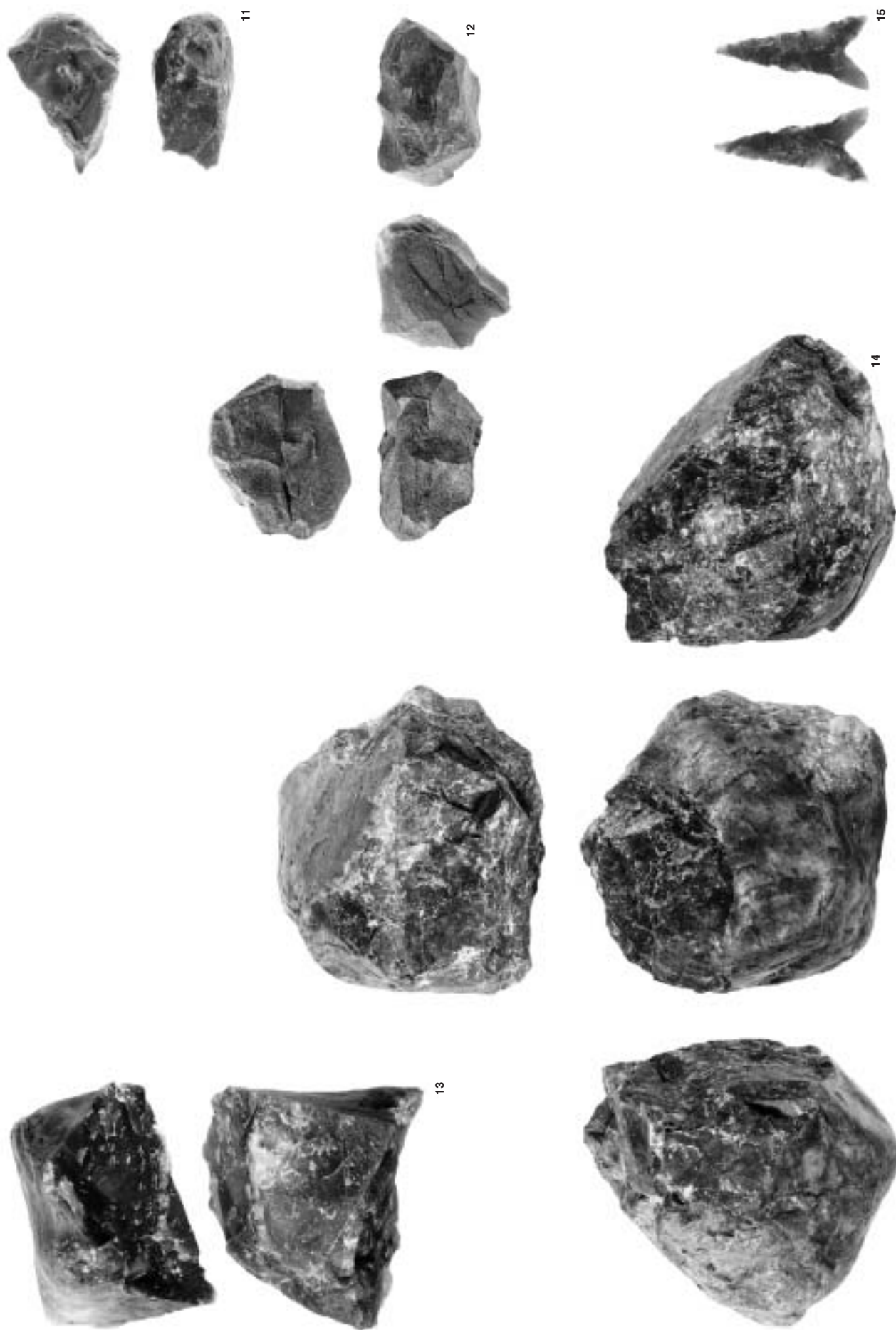


本村遺跡第41・42地点全景

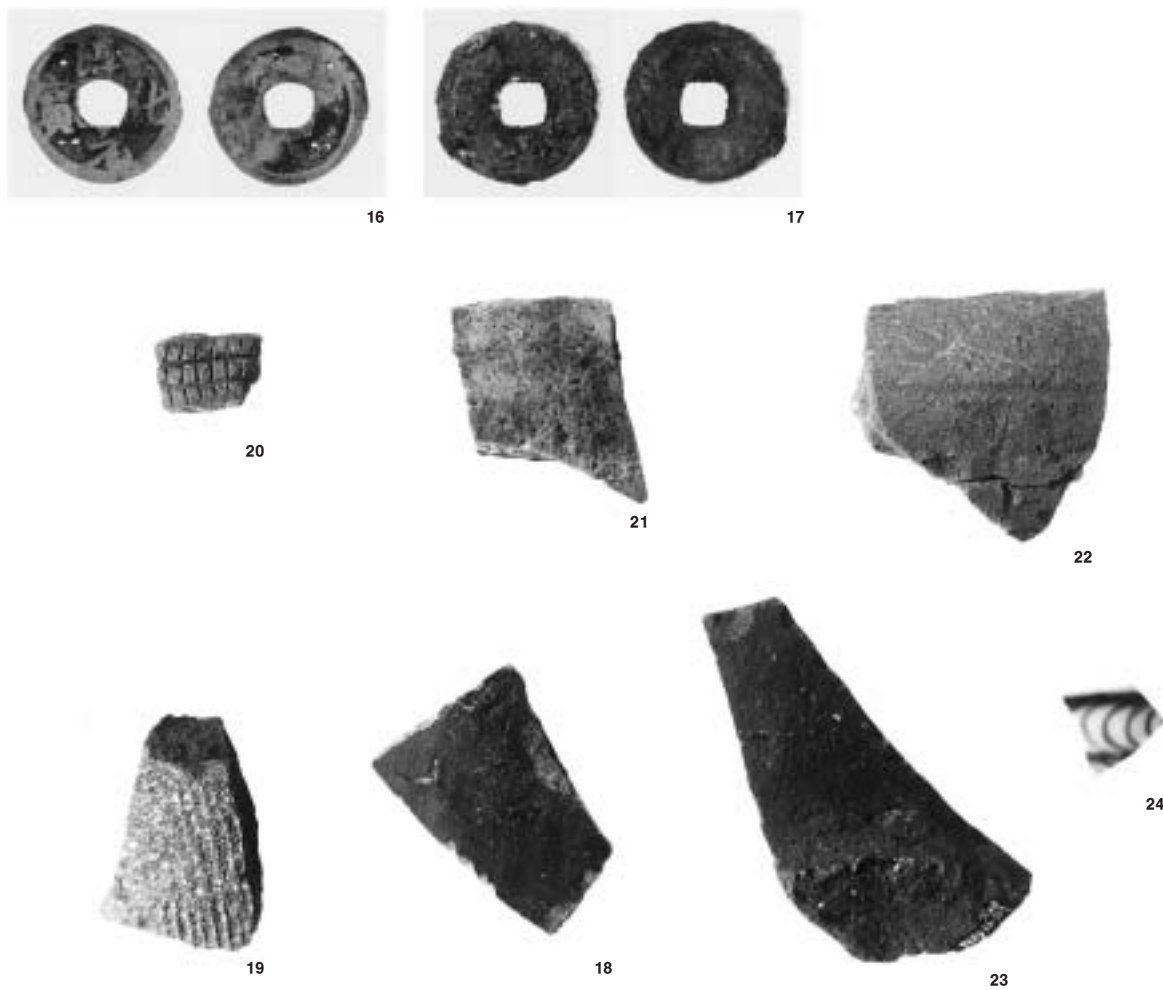


本村遺跡第41・42地点近景





本村遺跡第36地点



本村遺跡第41・42地点

